

活動報告会(プチ体験会含む)を開催します

本事業が普段どのように行われているかを知っていただくため、支援者の方や当事者の方を対象にした活動報告会を開催します。当日は「いろはのなかまち」の「プチ体験会」も実施しますので、当事者の方も気軽にご参加ください。また周りの大人の方も、周囲にケアを担っている子ども・若者がいれば、ぜひ一緒に参加したり、お誘いください。「支援者の意見交換会」では、普段の疑問や困っていることを一緒に考えます。



写真:上・左
これまでの
活動の様子

活動報告会

- ◆日時: 2023年9月2日(土) 13:30~16:00
- ◆実施方法: 対面とオンラインのハイブリッド開催
- ◆場所: 京都市中央青少年活動センター(対面の場合)
- ◆参加費: 無料
- ◆対象: 当事者(※)、周りの支援者の方、その他興味のある方

(※)おおむね中学生~30歳までの子ども・若者ケアラー当事者(家族のケアを担っている方)または経験者の方で、同伴の方を含みます。なお、遠方から対面参加される場合は、保護者や周りの大人の方の同伴をご検討ください。

事前申込制。右記QRよりお申し込みください。▶



当日のプログラム

- 子ども・若者ケアラー事業の現状
- 参加者の声
- 京都府ヤングケアラー支援事業の説明
- プチ体験会 ※当事者とその同伴者のみ / 支援者の意見交換会



当事者の声

他の人の話をきくなかで、私は少しずつ自分のことを客観的に捉えられるようになりました。ただ、新しい場所で新しい人と出会うのは緊張がつきものです。その人のタイミングで参加する/しないを選べる場となればいいと思います。



普段の活動に加えて季節ごとのイベント会も開催している。

支援者や若者にかかわるみなさまへ

進路や将来について、いま抱えているしんどさや、不安を聴いてくれる人がいると、少し楽になるかもしれません。支援者のサポートが、子ども・若者が踏み出す一歩につながります。



ケアをした経験は、その最中にある場合はもちろん、ケアが終わった後も子ども・若者期の不安や葛藤、将来を考えるときに影響することがあります。また、友人への気遣いや周囲と比較して自身の家庭環境に劣等感を持つなど、身近な人へ話すことに抵抗感を持つことも少なくありません。

本事業は、子ども・若者が悩みを抱えて孤立しないために、同年代やロールモデルとなる少し年上の若者と、安心して話すことができる場づくりを行なっています。

実際には、オンラインで話すことに抵抗感がある・家庭にオンライン環境がない・ケアしている家族が家にいて外出しにくいなど、参加にあたっては周囲の大人のサポートが必要です。参加を迷われる場合は、ぜひ一度ご相談ください。

お問い合わせ先



公益財団法人 京都市ユースサービス協会

京都市中京区東洞院通六角下ル御射山町 262 中央青少年活動センター内
075-213-3681 ✉ youthcarers@ys-kyoto.org

いろはのなかまち
のウェブサイトは
こちらからご覧ください

